

月刊 まつなみ

平成20年
3月号
No.101



写真: 医事課 加藤 康昭

あいさつで
あなたも
私も
いい気分

たんぽぽ

花を どん な花 なた たり に	花を どん な花 なた たり に	空を どん な花 なた たり に	数え だれ た指 だけ 指を を	高い 工場 の壁 の下 で	花を どん な花 なた たり に	花を どん な花 なた たり に	花を どん な花 なた たり に	野原 に咲 いた 花	青い 空を 夢に 見な がら	冷たい 風と 故郷 の夜	雪の下 故郷 の夜
おん くり まし よう	おん くり まし よう	おん くり まし よう	た優 しく 開き から	待つの 下で の でし よう	おん くり まし よう	おん くり まし よう	おん くり まし よう	たん ぽぽ の	たん ぽぽ の	たん ぽぽ の	たん ぽぽ の

理念

私たちは、地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する

基本方針

私たちは、地域中核病院を有する法人として、医療環境の変化に対応し、質の高い保健・医療・福祉サービスを通して地域社会と共に発展をめざします

私たちは、患者様や利用者の方のプライバシーを守るとともに、権利を尊重し、根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供するよう努力します

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図ることを追求するとともに、職員の仕事が安定し、生活が向上するよう努力します

目次

- 2年間の卒後医師臨床研修を振り返って
- 3月のお知らせ
- 外来基本診療体制

松波総合病院ホームページ

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>

2年間の卒後医師臨床研修を振り返って

当院は、厚労省認可の管理型研修病院です。

研修医：橋本 恭成

この2年間様々な科をローテーションし大変勉強になりました。

まず内科研修では、指導医がマンツーマンで付き様々な内科的な疾患を学びました。診察のしかたから検査の出し方などいろいろ教えてもらいながら学びました。手技に関しても充実しており、中心静脈穿刺、胸腔・腹腔穿刺、腰椎穿刺、骨髄穿刺、胸腔ドレナージ、胃管挿入、気管内挿管等種類の多さだけでなく数も多くこなせました。各疾患において病態に応じた治療だけでなく一般的な輸液管理、血糖管理、抗生剤の使い方まで幅広い知識が得られたと思います。

外科研修においては、どういう患者が手術適応となるのかをよく学んだと思います。自分が内科医となるので、外科へのコンサルトのしかたなどとてもよく学べたと思います。

また手術に入ることによって解剖を直下に観察できたためCTで読影はするが実際はどうなっているのかというのも直視下でみれたため大変勉強となりました。手技に関しては主に縫合をさせていただきプライマリケアに必要な縫合技術はしっかりと学べたと思いますし実際救急外来にてもそれをいかし数多くの経験ができました。

麻酔科研修においては、主に麻酔とは何か、呼吸・循環管理の病態生理等を指導医の先生に木目細かく教えていただき大変勉強となりました。また緊急時の麻酔の導入等も大変勉強となりました。気管内挿管、中心静脈穿刺、腰椎穿刺、動脈穿刺等も麻酔科でしっかり教えていただき基本をきっちり学びました。

産婦人科研修では、主に御産を数多くみさせていただきました。正常分娩が実際どのような流れで進んでいくのか、何回もみることにより一連の流れは把握できました。また婦人科的疾患も数多くみることができ、手術適応等学べました。産婦人科においても外科的手技を数多く経験させていただき大変実になりました。

小児科研修ではおもに、救急外来での緊急性を判断できるような気持ちで望みました。実際、指導医の先生の診療のしかた、検査(特に血液検査)のタイミング、入院の適応等を学べました。また小児の静脈ルート確保、採血も成人とは違いかなり特徴的であり本病院の研修では数多く手技をこなせました。

地域医療研修では、おもにどういう患者様が介護老人施設に入所するのか、また施設でできる限界など数多く学べました。

当直での救急外来では、おもに緊急性のトリアージをし、必要な検査、処置、どこに主眼を置いて診療したらいいのかを数多く経験できました。特に心肺停止患者の対応について数多く症例を経験でき、対応できるレベルまで達したと思います。

総じて非常に充実した研修生活を送れました。

今後とも精進し、患者様の為にがんばりたいと思います。

研修医：丹羽 崇

研修を終了しようとしている今、病院でオリエンテーションを受けていた頃を懐かしく、しかしついこの間のことのように思います。

国家試験の合格発表があってから3日しか経たないうちにすぐに病院に勤務開始となり、心の準備もなにもなく着慣れないスーツを着てやってきた私は、最初にお会いした明らかに年上の事務の方に「先生」と呼ばれて、そのあまりにも自分の認識とは異なる呼ばれ方に戸惑い、恥ずかしく、そして「これは大変な仕事を選んだのかもしれない」と初めて実感しました。

それから始まった研修は慣れないことの連続で、最初の頃は、今思えば何もやっていないじゃないか！と思うような内容でもやたらと時間がかかり、疲れたものでした。しかし、指導医の先輩方に助けられ、同期研修医と励ましあいながら時間が経つうちに、段々と病院での仕事に馴染んでいきました。今では生意気にも上級医の先生に意見まで述べるようになってきました！しかし、そんな青い私の意見を、知識と経験で上手くフィードバックしてくれる先輩方がいてくれたことは、なにより幸運であったと思います。

新年度より、縁あって引き続き松波総合病院で内科医として働くこととなります。貴重な2年の研修機会を与えてくれた病院に恩返しをするつもりで、研修期間に学んだことを生かして、地域の皆様のために新たな仕事に向かっていきたいと思っています。

研修医：松波 邦洋

2年間の研修で一番学べることが多くあったのが、当直の時間帯であった。時間外の外来・救急外来での初療にあたり、プライマリーケアの力を身につけられたと思う。また、週一回の救急症例検討会において、自分の初期治療の反省・他の研修医の経験を共有することができた。院外での勉強会にもすすんで参加し、院内で行なわれていることが、標準化されていることなのかを吟味することができた。BLS・ACLS・JPTC・ISLS・T&A救急初療のコースを受講し、学んだことを日ごろの診療に生かし、コメディカルへの知識の普及に努めることができた。

内科研修では単一臓器を診るのではなく、その患者自身の抱える問題を把握し、どうアプローチしていけばいいのかを学ぶことができた。

麻酔科や外科研修ではプライマリーケアに必要な手技を自信を持ってできるように指導していただいた。他病院での研修をしている同級生に比べ、経験数も多いと思う。また、外科研修時の放射線科医・病理医との検討会では有意義な討論が行なわれており、学ぶべき点が多かった。

小児科研修では、小児科特有の疾患・感染症の対応を学ぶことができ、母親に対する対応の仕方まで学べた。緊急を要する病態の把握・慢性疾患（特にアレルギー疾患）の外来でのフォローの仕方などを学び取ることができ、時間外の外来・救急外来で診る子供の診療に生かすことができた。

産婦人科研修においては正常分娩での対応など十分にこなすことができた。帝王切開・婦人科疾患のオペ症例も多く、プライマリーケアにも必要な卵巣腫瘍頸捻転・子宮外妊娠などの症例も経験でき大変有意義であった。

精神科研修においても、鎮静薬・抗精神薬・抗うつ薬・眠剤の使いかた・自傷他害の恐れがある患者の対応の仕方など症例を通して体験することで知識の整理ができた。

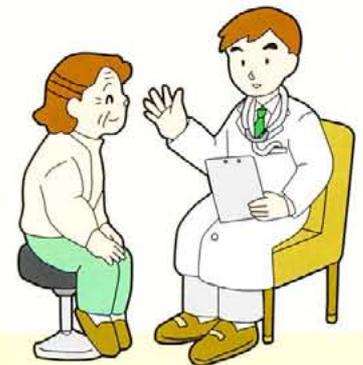
また、ADHDや自閉症の患者と関わることができ、専門教育プログラムの必要性を認識できることができた。

地域医療研修では介護の実情・保険制度の問題点など把握でき、退院後の患者にどう関わるかを学ぶことができて一回り成長できたように思う。

選択科では放射線科・ICU・呼吸器内科・小児科を選択し、放射線科では系統立てて、見落としをなくす為にどういう所に注意すればいいのかを学ぶことができた。超音波の技術も上達したように思う。

ICUでは様々な科での重症患者の管理に関わることができ、大変有意義であった。また、多科との議論は、治療方針を決定していく過程の中に色々興味深いことが多く、知識が深まった。呼吸器内科では感染症の考え方・NPPVを含めた人工呼吸器管理を学ぶことができた。

この経験を生かし、患者様が安心できるようもっと努力していきます。

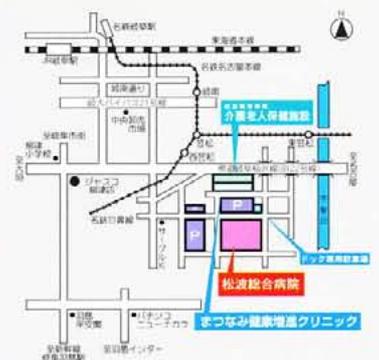


3月 お知らせ

■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加下さい。

◎毎週水、金曜日、5階病棟ディールームにて 午後1時～2時

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。



交通のご案内

新幹線羽島駅 —— 西笠松 —— 松波総合病院

名鉄東山線羽島駅 徒歩10分
タクシー20分

名鉄岐阜駅 —— 西笠松 —— 松波総合病院

名鉄東山線羽島駅 徒歩10分
タクシー15分

名鉄名古屋駅 —— 笠松 —— 松波総合病院

名鉄東山線羽島駅 徒歩10分